

令和8年度学校経営計画

学校名 東広島市立もみじ小学校

東広島市立もみじ中学校

学校長名 大島 美紀

I 学校の状況

学級数	5	児童・生徒数	13	教職員数	21
メールアドレス	momiji-shochu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/momiji_sho_chu/				

II 教育目標

自らを律し、自ら行動する人間の育成 ～ 自律と自立 ～

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

「育ち直し」「学び直し」の理念のもと、児童生徒の自律・自立を支援する ～ この学校で学んでよかったと思える学校づくり ～

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
学習指導	1	確かな学力の定着	共感的な人間関係と自己存在感を基盤とした、「個別最適な学び」の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援計画に基づき、実態に応じた個別最適な学びを推進する。 UDを取り入れた授業（焦点化・視覚化・共有化・振り返りの工夫・ICTの活用）を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の意識調査「自分に合った教え方、教材、考える時間などになっている」の肯定的評価の割合 90%以上 教員の意識調査「個別最適な学びの充実に向けて取り組んでいる」の肯定的評価の割合 90%以上
			自己決定の場を核とし、自主的・主体的な学習態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 単元計画の中に、自己決定の場面を設定する。 学園と学校が協働し、「学びの連続性」を念頭に置いた係会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の意識調査「授業の中で、自分で考え、判断しています」の肯定的評価の割合 90%以上 児童生徒の意識調査「様々な行事において、どのようにしたらうまくいくか、自分で考えて行動した」の肯定的評価の割合 90%以上
生徒指導	2	社会に通用する生徒の育成	生徒理解を基盤とし、自己決定を促す生徒指導を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> 合意形成に基づく生徒指導と、体験活動を通じた意思決定の場づくりをする。 学園との連携による人間関係づくりと、道徳・キャリア教育を通して、生き方を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の意識調査「もみじ小・中の先生は自分のことを分かってくれる」の肯定的評価の割合 90%以上 児童生徒の意識調査「東広島スタンダード」を自ら進んで行っている」の肯定的評価の割合 90%以上
			自己存在感を育む部活動を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が必ず部活動に付き、児童生徒理解に努める。 学園と情報共有し、一貫したポジティブ・フィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の部活動への複数の教員参加率 90%以上 児童生徒の意識調査「部活動では達成感があった」の肯定的評価の割合 90%以上

信頼される学校	3	関係機関連携の充実	広島学園職員や原籍校から信頼される教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立支援計画」を核とし、学園職員との定期的な情報交換（カンファレンス・ケース会議等）を実施する。 ・原籍校連絡協議会において、本校での成長を可視化した資料を提供し、復帰・進路への納得感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園職員の意識調査「学校職員は児童生徒の発達を理解して指導している」の肯定的評価の割合 90%以上 ・原籍校のアンケート調査の肯定的評価の割合 90%以上
業務改善や働き方	4	効果的な教育活動の充実	「働きがい」と「働きやすさ」を創出する働き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「やめる・減らす・変える」の視点で分掌業務を見直す。 ・教職員の「ウェルビーイング」の向上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間外の在校時間が月 45 時間・年間 360 時間未満の割合 100% ・教職員アンケート「働きやすさと働きがい」の肯定的評価の割合（平均）90%以上

V 学校評価

(1) 学校評価システムの組織（構成者を含む）

●システム

自己評価（生徒・学園職員・教職員アンケート分析・考察）→ 学校運営協議会

●学校運営協議会委員

（県立広島学園園長）

（地域自治会長・県立広島学園育成会理事）

（学識経験者・公立中学校長経験者）

●学校運営協議会（学校関係者評価委員）

（県立広島学園園長）

（地域自治会長・県立広島学園育成会理事）

（公立中学校長経験者）

(2) 自己評価及び学校運営等に関する評価の実施計画（公表方法を含む）

4月 第1回学校運営協議会（学校運営の基本計画の承認）

7月 第1回アンケート調査（自己評価）

10月 第2回学校運営協議会（学校関係者評価）

12月 第2回アンケート調査（自己評価）

3月 第3回学校運営協議会（学校関係者評価）